

## 「公民連携相模原イノベーションスクール」公開プレゼンテーション開催のお知らせ

～民間企業・団体と相模原市職員が起こす、地域課題への「イノベーション」の波！～

様々な分野の「人」がつながり、地域課題の解決につながる新たなビジネスプランや事業モデルをつくりあげていくための「公民連携相模原イノベーションスクール」で、受講生が作り上げた事業案を発表します。

今年度から新たに開催した、この「スクール」は、東京家政学院大学、西武信用金庫、相模原市の共同主催で実施するものです。



### 1 日時

平成31年1月23日(水)午後1時30分～午後5時

(午後1時受付開始)

### 2 場所

産業会館 1階 多目的ホール(相模原市中央区中央3-12-1)

### 3 概要

企業、団体、大学等多様なセクターからの参加者と相模原市職員が、架空の5つの Tweet をきっかけに地域課題の掘り起こしを行い、課題解決をねらいとし、グループワークにより作り上げた新たなビジネスプランや事業モデルを公開プレゼンテーション(以下「公開プレゼン」)します。

(1) 提案事業数 5事業(各事業の概要は別紙参照)

(2) ファシリテーター 株式会社フューチャーセッションズ 代表取締役社長 野村 恭彦 氏

(3) 公開プレゼンの流れ 各事業案の発表後、参加者との質疑応答をします。

## 【プログラム（予定）】

時間	内容
13:30	開会
13:40～ 15:10	成果発表 ファシリテーター：(株)フューチャーセッションズ 代表取締役社長 野村 恭彦 氏 第1部 みんなが利用したくなる 「相模原シェアサイクル」をみんなで作ろう！ 移動商店街 あそびラボ相模原
	～ 休憩 ～
15:30～ 16:30	第2部 活気あふれる！ さがみはら「空きリソース」で地域活性 さがみはらコネクトプロジェクト
16:30～	講評
17:00	閉会

#### 4 公開プレゼン参加者（予定）

- ・本スクール受講者 27名
- ・提案する事業案に関係する企業・団体 17社
- ・提案する事業案に関係する市各課・機関 16機関

#### 5 プレゼンテーションする事業案について

ワーキングに参加した企業や団体等が自らの取組として実現化を図るほか、プランを検討したワーキング・メンバーとの協議などを基に、公開プレゼンに参加したセクターが事業化することも可能です。

#### 6 その他

公開プレゼンは一般参加者を募集するものではありませんので、ご容赦ください。

また、人数把握のため、報道機関の方が参加される際には、1月21日（月）17時までに職員研修所に電話にてお申込みください。

問合せ先

職員課 職員研修所

担当 宮地

電話 042-769-8332

# 公民連携 相模原イノベーションスクール

## 提案ビジネスプラン等概要

グループ名	誰もが利用しやすい移動手段をつくりたい(隊)
事業名	みんなが利用したくなる「相模原シェアサイクル」をみんなでつくろう！
事業概要	<p>相模原市民の自家用乗用車保有率が高いことや市内中心部まで鉄道が延線されていないこともあり、車で行く必要のない短距離でも車を利用することが多く、渋滞の原因となっています。</p> <p>そこで、新たな移動手段として「シェアサイクル」を市内に導入し、渋滞緩和を目指します。</p> <p>なお、「シェアサイクル」の利用促進を図るために、シェアサイクルを利用するとポイントが貯まるなどの魅力的な仕組みを、官民が連携して構築します。</p>

グループ名	そらまち
事業名	移動商店街
事業概要	<p>私たちは高齢者の介護予防の一環として「移動商店街」を提案します。</p> <p>移動商店街は、食料品や日用品だけでなく、サービスや人とのつながりを提供するもので、これから迎える「スーパー老いるショック」の時代でも、誰もがいきいきと暮らせるまちを実現できたらという思いから考えました。</p> <p>困りごとを他人事にせず、「我が事」として地域が「丸ごと」1つになる地域共生社会の実現に向けて、まずは、プレゼン会場にお越しただけたら幸いです。</p>

グループ名	遊びを極める
事業名	“あそびラボ相模原” ~ 多世代がアートの力で素敵な遊び場をつくる ~
事業概要	<p>昨今、遊ぶ場所の減少や多世代・地域の人との交流が希薄になっているなど、子どもたちにとって多彩な体験ができる機会が失われています。</p> <p>そこで私たちは、「アート」をテーマにした遊びを子どもたちの身近な場所で提供するプランを考えました。公園や空き地等を活用し、芸術家や美大生を招いて創造(想像)性豊かな遊びの提案や、地域の高齢者と共に昔ながらの遊びをリノベーションするなどのコンテンツを検討しています。</p> <p>創造性豊かな「遊び」の場が相模原市の魅力の一つになることを目指します。</p>

# 公民連携 相模原イノベーションスクール

## 提案ビジネスプラン等概要

グループ名	パレットさがみはら
事業名	活気あふれる！さがみはら「空きリソース」で地域活性
事業概要	<p>相模模原市内の地域活性化を図るため、商店街の空き店舗でお店など事業をやりたい事業者を市が公募する事業を提案します。</p> <p>&lt;事業の流れ&gt;</p> <p>(1)リソースの公募</p> <p>地域を活性化したい商店街の空き店舗(貸主)を公募 お店などのデザインをしてみたいデザイナーを公募 スポンサーの公募(賃料、開業にかかる改装費、デザイン料)</p> <p>(2)店舗等事業者の公募</p> <p>上記リソースを利用してお店など事業をしたい事業者(借主)を公募 借主は、プレゼンテーション等により決定 市・商店街・スポンサーが審査 (審査の視点:借主の店舗だけでなく、商店街全体の集客につながる提案であるか)</p> <p>&lt;モデル店舗の開業&gt;</p> <p>本イノベーションスクールにおいて、協力できる店舗(貸主)、デザイナー、スポンサーを募り、市において事業化を目指します。モデル店舗を公募し、開業することで継続的に実施していくきっかけとします。</p>

グループ名	みんな 大好き さがみはら(MDS)
事業名	さがみはらコネクトプロジェクト
事業概要	<p>年代にあわせた婚活アプリ「さがみ CON」で、出会いから結婚まで相模原の魅力で埋め尽くす！関係性の段階に応じて、「まちコン情報」「好かれるしぐさ」「おススメデートスポット」「使える飲食店」「あいさつ時の鉄板お土産」「レストランウエディングできる場所」等を双方向で投稿しながら、結婚までをサポート。結婚式は桜まつりでパレード！気付けばパートナーのことも相模原のことも大好きに 大学生プロデュースの年代別コンテンツを基礎情報に、店舗等には協賛や割引クーポンなどの協力を得て、みんなで HAPPY に</p>

## 共同主催者紹介

東京家政学院大学(東京都町田市相原町 学長：廣江 彰)

本学校章はバラの花。バラを KVA の三文字でデザインしています。本学教育の理想である Knowledge (知識の啓発)、Virtue (徳性の涵養)、Art (技術の錬磨)の頭文字を組み合わせ、ことに K と A とを V で包み込むように、学生たちが K と A を自分のものとし、なお V で表象される「温かき人格の持ち主」となることが教育の主眼、と表現しています。

建学の祖である大江スミは、ロンドン留学中に家政学の重要性を確信し、しかし家政学を単なる家事上の実用技術習得に終わらせず、社会生活を豊かにする学問として樹立することを志しました。1923年(大正12年)に家政研究所を自宅スペースに創設、同年の関東大震災による痛手を超えてその3年後には東京家政学院を設立、爾来今日に至っています。

家政学は、社会の基礎単位である家庭生活から課題を発見・解決することで社会生活それ自体を豊かにする学問。家庭から社会へとイノベーションを伝播させる役割を担っています。その拠点が町田市と千代田区三番町の2キャンパス、現代生活学部(現代家政学科、生活デザイン学科、食物学科、児童学科)と人間栄養学部人間栄養学科にあります。

西武信用金庫(本店：東京都中野区 代表理事：落合 寛司)

東京都・神奈川・埼玉県の魅力ある地域を営業エリアとして地域社会の発展に貢献することを目的とする協同組織金融機関。

各支店を「お客さま支援センター」として位置づけ、中小企業のお客さまが直面する経営課題を解決する「事業支援」、地域の課題に向き合う方々、地域活性化のための「街づくり支援」、個人の方々の資産の有効活用、資産承継を支援する「資産形成・管理支援」の3つの支援を柱としてお客さまの課題解決に努めています。

事業ステージや業種、市場等によって課題は異なり解決方法は多岐にわたるため地域金融機関のネットワークから企業、自治体、大学、商店街、NPO等のニーズに応じたマッチング先を紹介したり1,000を超える専門機関と連携し専門家派遣による課題解決、公的補助金等の申請支援などを実施しています。

これらを通じて安定した生活、住みやすい街、強い地域経済力の実現への支援をすることで社会貢献度の高い金融機関を目指しています。

相模原市

近年、少子高齢化の進行や市民ニーズの多様化など、本市を取り巻く環境は大きく変化しており、こうした変化に対応するうえでは、職員に求められる意識や能力も高度化しています。このため、職員の人材育成の一環として、多様なセクターからの参加者とともに地域課題の解決につながる方策の検討を行うことで、職員の意識変化を促すと同時に、企画力、交渉・折衝能力、プレゼンテーション力の向上を図ります。